

事業所名

合同会社フェリックス ぶれいらんど本町

支援プログラム（5領域）

法人（事業所）理念	事業の運営に当たっては、放課後等デイサービスを利用する通所給付費支給決定保護者及び児童の人格等を尊重して、常に保護者及び児童の立場にたった発達支援の提供に努めます。サービスの提供にあたっては、児童が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切な指導及び援助を行います。事業の実施に当たっては、他の放課後等デイサービス事業者・教育機関・医療機関・行政機関・その他福祉サービス機関との連携に努めます。		
支援方針	子ども達の「やってみよう」が聞こえる場所にしたい。 子ども達の「やってみよう」がたくさん見られる場所にしたい。 子ども達の「やってみよう」とする気持ちを応援できる場所にしたい。 ぶれいらんどでは、視覚的な情報を使用し、わかりやすい支援や、身体をたくさん動かすことができる活動、集中して活動に取り組める環境等、子ども達が安心して過ごせる環境作りを行い、子ども達の成長を応援していきます。		
営業時間	学校放課後 13時 0分から 17時 30分まで	学校休校日 9時 30分から 16時 30分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得が行えるよう支援します。 更衣、準備、片付け、忘れ物をなくすための工夫、排泄を身に着ける方法等、それぞれの子ども達の状況に合った支援を行います。 食事に関しては、夏休み等の学校休校日には食を営む力の育成と楽しい食事への支援（咀嚼、嚥下、姿勢保持等）を行います。 また、遊びの中や日常の中から学習機会を利用し、支援を行います。 日頃から児童の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意志の表出が難しい方には、表情等の様子を確認しながら健康管理を行っていきます。	
	運動・感覚	バランスボード等の器具や集団活動を通してゲーム感覚で体幹の維持や身体のコントロール、バランス感覚を学びます。 個別活動（目と手の供応、プットイン等）では力の強弱、距離感等を学びます。 余暇活動ではスライムやクリーム、寒天等を使用し様々な感覚、感触に触れ、感覚の成長を支援します。	
	認知・行動	それぞれの子ども達の特性に合わせて、「いつ」「誰が」「どこで」「何を」「どのように」「どうやって」を視覚的に提示することで、子ども達が次の活動へと自発的に行動し（スケジュール）、学習面においても視覚的に理解し（自立課題）、一人でできた！の自己肯定感を育めるよう支援します。 また日常生活においても自分のスペース（荷物の置き場所、靴の置き場所、食事の場所等）を視覚的に提示し自信をもって行動できるよう環境設定を行います。	
	言語コミュニケーション	子ども達の特性に応じて言葉だけでなく非言語（ジェスチャー、絵カード、写真、PECS等）のコミュニケーション方法を支援していきます。 適切な言葉使いができず、お友達と距離ができてしまったり、ご家庭での困り感によってはSST（ソーシャルスキルトレーニング）を個室で児童とスタッフが1対1で行い、どうすれば適切なコミュニケーションができるか一緒に勉強していきます。 また発語が難しく、大きな声を出したり、他害行為や自傷行為がある子ども達にも、その行動には「要求」や「拒否」、「注意喚起」などの機能が含まれています。 適切な方法でのコミュニケーション方法を学ぶことで、自分も周りも大切にすることを学びます。	
	人間関係社会性	集団活動を通してルールやマナー、他者との距離感を学びます。 集団活動前にルール等の確認を行い、終了後にはフィードバックをみんなで行うことで、こんな時はどうすればよかったか、次はどうしたらよいかを一緒に学んでいきます。 また、個別での訓練が必要な子ども達には、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行います。 対人関係、金銭、異性との距離感、マナー、ルール等、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。 また、ストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考えます。	
家族支援	ご家族の困り感に応じて適宜面談を行い、支援に組み込んでいきます。 また各種福祉サービスの情報提供を行います。	移行支援	それぞれの学年の移行時に、学校側との連携や情報共有を行います。 また必要に応じて適宜学校側との会議を行い連携を行います。
地域支援・地域連携	商店街の中にある立地を活かして社会資源の活用を行っていきます。	職員の質の向上	OJT、OFF-JTによって知識、技術の研鑽を行います。 また、福祉に携わる人材としてモラルのある行動を行うよう徹底します。
主な行事等	外出支援（水族館や動物園などのテーマパーク）、調理実習、買い物体験等を行い、公共の場での過ごし方やルール、マナーを学びます。		